

年間授業計画

第四商業 高等学校（１学年用）

教科： 商業

科目：簿記

単位数： 4 単位

- ◆対象学年組：第 1 学年 A 組～E 組
- ◆使用教科書（ 高校簿記（実教出版）

◆教科: 商業 の目標：

【知 識 及 び 技 能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として化学的な根拠に基づいて創造的に課題に適應する力を養う。	企業会計原則に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協同的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 簿記の基礎 【知識及び技能】 ・簿記の意味・目的・役立ちなどを理解させ、学習の心構えを養う。 ・資産・負債・資本のそれぞれの意味と種類を理解させる。 ・貸借対照表の概要を説明し、貸借対照表の作成方法を習得させる。 ・収益・費用のそれぞれの意味と種類を理解させる。 ・損益計算書の概要を説明し、その作成方法を習得させる。 ・簿記上の取引の意味を理解させる。 ・勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知らせる。 ・勘定記入法については十分理解させる。 ・取引要素の結合関係を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・これから学ぶ簿記は複式簿記であり、商業簿記であることを知らせる。 ・取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解させる。 ・損益取引によって生じる収益総額と費用総額の差額が純損益であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・簿記の歴史に触れ、これから学ぶ簿記の前提条件について理解させる。	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・簿記の基礎的な知識を身に付けたか。 ・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。 ・簿記上の取引の意味を理解しているか。 ・勘定記入法を理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・簿記を学ぶことの意義と必要性を考えたか。 ・簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。 ・勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、額しようとする態度が見られたか。 ・簿記の要素について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。	○	○	○	16
	B 簿記の基礎 【知識及び技能】 ・仕訳の意味を知らせ、仕訳のしかたを十分理解させる。 ・各勘定口座への転記のしかたを十分理解させる。 ・仕訳帳と総勘定元帳の意味を明らかにし、それぞれの記帳法を理解させる。 ・仕訳帳と総勘定元帳の意味を明らかにし、それぞれの記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・仕訳の意味を理解しているか。 ・各勘定口座への転記のしかたを理解しているか。 ・仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解しているか。 【思考・判断・表現】 ・仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・企業の取引を帳簿に記入することに関心を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組もうとしたか。	○	○	○	15
	定期考查			○	○		1
	C 簿記の基礎 【知識及び技能】 ・試算表の意味と種類を理解させる。 ・試算表と貸借平均の原理の関係について、教科書の図などを使って理解させる。 ・試算表の作成法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・試算表の意味や役割を理解できているか。 【思考・判断・表現】 ・試算表の作成について考え、適切に作成できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・試算表の作成について関心を高め、作成法を習熟しようとしたか。	○	○	○	3
	D 取引と記帳 【知識及び技能】 ・現金・当座預金・その他の預金の意味を理解させ、その記帳法を習得させる。 ・小口現金の意味を理解させ、その記帳法を習得させる。 ・3分法による商品売買の記帳法を理解させる。 ・3分法による商品売買損益の計算法と記帳法を理解させる。 ・仕入帳・売上帳の役割を理解させ、記帳法を習得させる。 ・商品有高帳の役割を理解させ、先入先出法と移動平均法による記帳法を習得させる。 ・売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解させる。 ・貸し倒れの意味と、その記帳処理を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・商品有高帳と仕入帳と売上帳の関係について理解させる。 ・売掛金勘定と売掛金元帳、買掛金勘定と買掛金元帳の関連を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。 ・掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 ・現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・商品売買の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 ・掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・商品売買の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 ・掛け取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	16
	定期考查			○	○		1
	E 固定資産の記帳 【知識及び技能】 ・固定資産の種類とその取得についての記帳法を理解させる。 ・固定資産の売却についての記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・固定資産台帳の役割を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 教科書に沿って、副教材・プリントなどを利用して学習させ、小テストなどで理解度を確認する。 ・教材等 反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級（実教出版）	【知識・技能】 ・固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】 ・固定資産の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・固定資産の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	16

